

本部職員`のんちゃん。が、体を張っていろいろな体験をします！

私に似合う色は？ パーソナルカラー診断へGO



左側はふだんの服とメイク。右側は似合う色を身に付けた私。



パーソナルカラーの基本は春夏秋冬

似合う色は人それぞれ

すてきな色の洋服や口紅を買っていても、顔色が悪く見えて自分には似合わなかったという経験、ありませんか？ 私は淡い色や黄色、オレンジ系が苦手で、すてきに着こなしている人もいるのに「なぜだろう」と思っていました。

でもそれは、一人ひとり生まれ持った髪や瞳、肌の色が違うから。その人の特性に合った似合う色を「パーソナルカラー」と呼び、「スプリング、サマー、オータム、ウィンター」の基本の4タイプに分かれます。

自分に似合う色を知れば、買い物をするときの無駄がなくなり、ファッションやメイクがもっと楽しくなるかもしれません！ と早速診断へ行ってきました。

輪郭まで変わった！

イメージコンサルタントの方が、次々と布をあてて、私に似合う色を探していきます。「赤」だけでも朱赤からえんじに近い色まで、何種類も。

そしてついに、私は「ウインター」タイプと判明。芸能人というと、黒木メイサさん、柴咲コウさん、広瀬すずさんが同じタイプといわれています。全然似ておらず、恐縮です(汗)。

はえぬきど真ん中 小学生をお手本に

『小さな親切』誌の全面リニューアルにともない、これまでのコラム「これってどうなの？」のタイトルを変更するかどうか迷っていたところ、職員から提案されたのが「はえぬきど真ん中」。

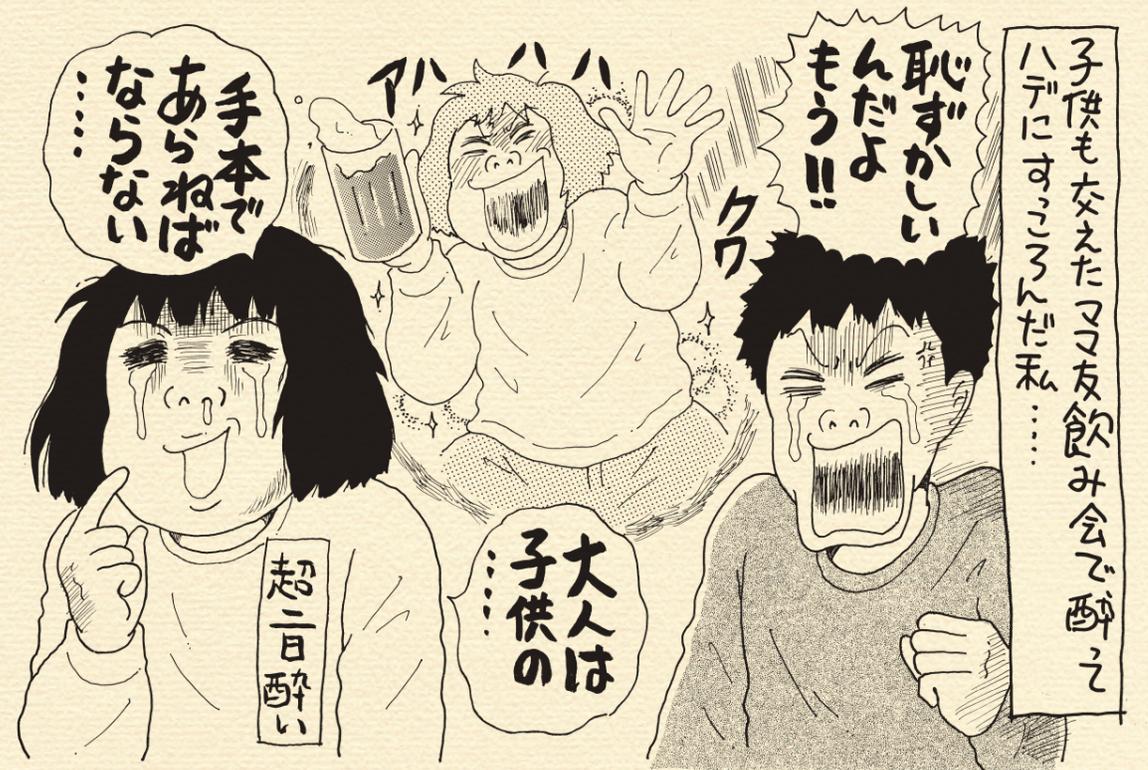
はえぬきど真ん中!? 山形県のブランド米2種類とみまごうタイトルだが、気付けば40数年の時を運動本部で過ごし、はえぬきと呼ばれるのは我ひとり。自分自身の物差しで、日常生活や社会の出来事を考えていきたいと思う。

9歳の小学生が、4歳の迷子を保護し警察に表彰されニュースとなった。ビルの前に一人ポツンと立っていた男子の前を、大勢の大人が通り過ぎて行く。小学生は、「きっと迷子にちがいない」と男子に近づき、「悪いことはしないよ。交番

に行こう」と声をかけた。コロナなので手はつながらず、男子の袖をつかんで交番へ。40人体制で迷子を捜索していた警察は、小学生の冷静な判断と対応を称え表彰した。

見て見ぬふりをする大人の姿に、小学生は信じられない思いだったことだろう。そして、コロナでは接触を避けることを守り、手をつなぐ袖をもった判断といい、私は脱帽すると同時に、恥ずかしく思った。大人は子どもの手本であらねばならない。口で分かったようなことを言っても、行動が心を表すもの。

小学生がこのまま思いやりの心をすくすく育て、茅誠司初代代表が願った立派な社会人になってほしい。私の立派な社会人への道は遠く、まだまだ続く。



山橋由貴子【やまはしゆきこ】
(公社)「小さな親切」運動本部
専務理事兼事務局長

神奈川県横浜市出身。茅誠司初代代表の在任時に入社し、親切運動ひとすじ40数年。ダジャレと愛犬の「イヴちゃん」(ミニチュアシュナウザー)をこよなく愛する。好きな食べ物は「ちくわの磯部揚げ」。

イラスト：安彦麻理絵【あひこまりえ】
漫画家・エッセイスト。山形県新庄市出身。
女性の本音を赤裸々に描く作風が人気。



魚が最高のお弁当

運動本部のある東京・水道橋駅の近くにあるお弁当屋さん「余白」。家ではなかなか調理しづらい魚のメニューが中心で、ご飯は玄米や雑穀米、野菜もたっぷり。特に、サバの塩焼き弁当は脂がのってて、何度もリピートしています。リモートワークで運動不足、体重増加気味の職員の健康を支える大好きなお弁当屋さんです。



サバ塩焼き弁当